

# ハトムギ通信 (第2号)

## ハトムギ栽培のポイント ～生育期の除草、病害虫防除～

播種は6/20までに、遅れず実施！

- ◎ハトムギは初期生育が遅いので、雑草に負けないよう除草対策を徹底しましょう。
- ◎適期培土で発根を促し、生育促進と倒伏防止を図りましょう。
- ◎病害虫防除は適期に、確実に実施しましょう。特に、アワノメイガの多発に注意しましょう。



### 1 生育期の除草

#### (1) 中耕による除草

除草剤の効果が切れて雑草が発生してきたら、**早めに中耕除草**を行いましょう。  
さらに、ハトムギが大きくなる前に雑草が発生してきたら、再度、中耕除草をしましょう。

#### (2) 薬剤による除草 (中耕で雑草を抑えきれない場合)

薬剤名	適用雑草名	使用時期	薬量	使用方法
バサグラン液剤 (全面散布が可能)	広葉1年生雑草	雑草3～6葉期 但し収穫45日前まで (イネ科雑草には効果なし)	薬量 150mL/10a、 希釈水量 100L	2回以内
プリグロックスL (うね間処理に限る)	1年生雑草	雑草発生期(出穂期まで) 但し収穫60日前まで	薬量 600～1000mL/10a、 希釈水量 100L	2回以内 (ハトムギにかけない)

※『プリグロックスL』がハトムギにかかると枯れてしまいます。絶対にかからないよう、ていねいに散布しましょう。

### 2 培土

培土は生育を促進、除草と倒伏防止に効果があります。  
最低2回は必ず行いましょう。

- ・1回目培土は、**播種後25日頃**を目安に。
- ・2回目培土は、**1回目培土の15日後頃**を目安に。



1回目培土の様子

### 3 病害虫防除

- 今年、アワノメイガの多発が予想されるため、確実に防除しましょう。
- 1回目防除後、葉枯病が発生したら追加でロブラール水和剤散布しましょう。

薬剤名	1回目(播種後25日後頃)			2回目(1回目防除15日後頃)		
	薬剤名	倍率(倍)	必要薬量	薬剤名	倍率(倍)	必要薬量
	① パダン SG 水溶剤 (収穫14日前まで) + ② ロブラール水和剤 (収穫21日前まで)	1,500  1,000	100g  150g	① パダン SG 水溶剤 (収穫14日前まで)	1,500	100g
対象病害虫	① アワノメイガ、② 葉枯病			① アワノメイガ		
散布量(/10a)	150L(2剤混合)			150L		

※薬剤散布の際は、必ず展着剤(ハイテンパワー10,000倍)を加用する。

#### アワノメイガの被害茎

茎と葉の付け根付近から茎内に侵入し、内部の髓を食害する。被害茎は枯れ上がる。



#### 葉枯病

楕円形の病斑が、下位葉から上位葉へ進展し、白く枯れ上がる。

